



イノシシに出会った時は…



① 近づかない

ほとんどの場合はしばらくすると自然と山に帰っていきます。犬などを連れていたり、敵と判断して攻撃してくることがあるので、十分に注意してください。



② ゆっくり後退し、静かに立ち去る

立ち去ることが難しいときは、安全な場所でイノシシが立ち去るまでやり過ごしてください。安全な場所から、音を立てるなどして、人がいることを知らせましょう。



③ 威嚇したり、驚かせたりしない

むやみに興奮させると危険です。



イノシシが物陰などにいる場合があります。びっくりさせて突発的な事故を防ぐため、イノシシの出没のおそれがある場所では、特に夜に出歩くときは、音や光でこちらの気配を知らせるようにしましょう。

イノシシの出没情報やご相談は区役所または農政事務所へ

平日 8:30~17:15
門司区役所総務企画課広報広聴係
TEL 331-1881 (内線 276)

- 東部農政事務所(門司区、小倉北区、小倉南区) 951-4111(代表)
- 西部農政事務所(若松区、八幡東区、八幡西区、戸畑区) 693-9912(直通)



どうして被害がなくなるならない?



北九州市では市民生活に被害をもたらすイノシシを捕獲しています。

(単位:頭)

年 度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
捕獲頭数	519	1,115	673	962	833	1,067

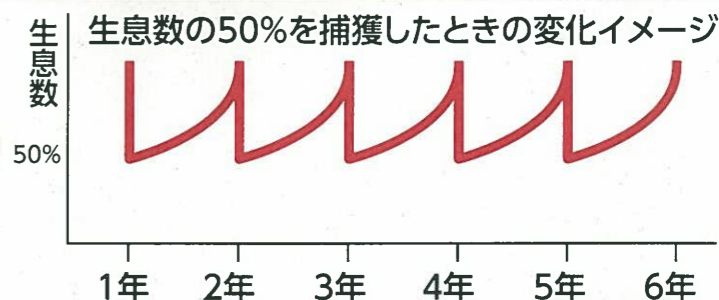
これだけ捕獲してもイノシシによる被害は無くなりません。

なぜか?

それは…イノシシがとても繁殖能力が高い動物だからです。

- 早い性成熟
- 高い妊娠率
- 多い産子数
- 基本的に年1産
- 1歳までに約50%が死亡

捕獲しても次の年には元の数に戻ってしまいます。



農林水産省「野生鳥獣被害防止マニュアル」参照

捕獲するだけでは、根本的な解決にはなりません。

だから



イノシシを近づけない工夫をし、イノシシと上手に付き合っていくことが大切です。

中面にヒントを記載しています。

